

## 申17号 「安全安定輸送の確保」で交渉

**① 大規模輸送障害時での指令・現地との連絡報告を明確にし、二次災害を発生させない指揮命令体制を確立すること。**

<組合> 事故時に指令・現責・グループ会社間での情報共有をしっかりと行い、お客さま救済を最優先し、復旧作業時の二次災害を防止すること。

<会社> 復旧作業を急がせていることはなく、安全と人命を最優先にしている。

**② JR東日本の鉄道関連施設（トンネル・橋梁・電化柱・線路・架線）での点検・修繕について、本社・支社・現場・グループ会社間で意見交換を実施して、作業改善を図ること。**

<組合> 通常業務以外にも緊急点検もあり職場では要員が足りない。要員増を強く求める。

<会社> これからは社員が減少していくなかで検査の自動化の技術開発を進めている。

**③ グループ会社での死亡事故が連続して発生している中で、JR東日本とグループ会社との安全教育と訓練を強化すること。**

<組合> グループ会社や二次下請け会社社員の労働条件改善で「長く育てること」と「負担を減らすこと」を求める。

<会社> 二次下請け会社には直接できないが、グループ会社を通じて話をしていく。

**④ 乗務員の定例訓練や訓練センターでの訓練内容は、乗務員からの要望を聞き取り、より実践的な訓練を実施すること。**

<組合> ワンマン運転の拡大で運転士の働き方も変化している。訓練の内容も変えていくべきだ。

<会社> 現場でも意見を上げて訓練の内容を充実させてほしい。

**安全で働きやすい職場をつくらう!**